



学校だより

北海道中札内高等養護学校幕別分校
令和6年10月4日（金）
第 4 号
〒089-0615 中川郡幕別町南町 81 番地 1
電話 0155-55-2121
FAX 0155-55-2122

幸せって何？

教頭 高田 博文

人間、不幸よりも、幸せに生きる方が良いに決まっている。

では、幸せって何かを考えたことはありますか？ 人によって違うと思いますが、ゲームをする、おいしいものを食べる、動画サイトでいろいろな動画を見る、ゴルフをする…いろいろあると思います。確かにそれぞれ嬉しかったり楽しかったりしますが、それらは数日、数週間も経てばすぐに忘れてしまう一時的なものに過ぎません。

では、本当の幸せとは何か？ 人間の究極の幸せとされているものがあります。それは物やお金でなく次の4つだと言われています。

- 1 人に愛されること
- 2 人にほめられること
- 3 人の役に立つこと
- 4 人から必要とされること

今いちピンとこないかも知れませんが、究極の幸せは、派手さこそないかもしれませんが、静かで、じわじわと深みがあるものなのです。

では、それらの幸せは、どうやって手に入れるのでしょうか。

それは、働くことによって、上の2～4の幸せは得られると言われています。中には愛も一生懸命働くことによって得られるものだという人もいます。つまり働くことで、人間の究極の幸せをすべて得ることができるのです。先日、90歳を過ぎたおばあちゃんが厨房で働いているのをテレビで見ました。もうお金が欲しいとか何をしたいとかではないのでしょう。その姿はとても幸せそうで生き生きとしていました。

この原稿を書いている9月上旬は、ちょうど現場実習期間で、生徒の皆さんはそれぞれ職場で就労体験や就労を前提とした実習をしています。慣れない場所、慣れない仕事、慣れない人間関係、たいへんかと思います。

幕別分校を卒業した生徒は皆、就労することとなりますが、働くことによって究極の幸せを得ることができるということを忘れないでほしいです。そしてそれでお金がもらえるのだから、多少つらいことがあろうとも頑張してほしいと思います。

皆さんが幸せで豊かな人生を歩むことを願っています。

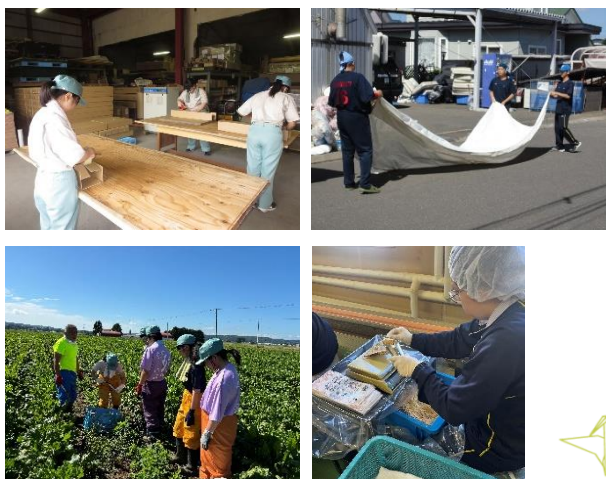
1 学年現場実習

今年度の現場実習は9月2日～9月13日の2週間行われ、1年生は食品加工や木工製造、クリーニング、農家など4カ所の事業所で実習を行いました。

どの職場でも、基本の挨拶や返事、報告、連絡、相談などが当たり前求められる、実践の場で試されています。実習を終えて自信になったことや新たな課題など、それぞれに学ぶことが多く、成長できた2週間でした。

今回、御協力いただいた企業や援農協力会、誠にありがとうございました。今後は学校生活でさらに成長できるように頑張っていきます。

1 学年現場実習担当：松 橋



2 学年現場実習

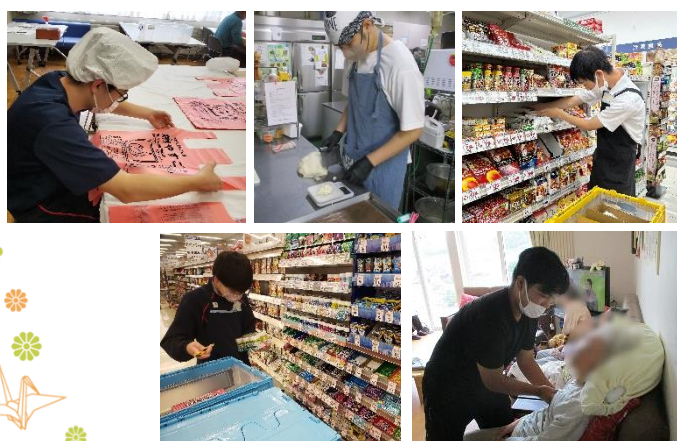
9月2日から13日までの2週間、今年度2回目の2学年現場実習が行われました。今回は一人ずつがそれぞれの実習先で、初日から単独で実習に臨みました。

生徒に応じた実習先（一般企業、福祉事業所）で、小売業、食品製造、介護補助などの職種を経験することができました。実習先では、ふだんの学校生活で意識している報告・連絡・相談や挨拶・返事、手早く丁寧に作業をすることなど、今自分が持っている力を発揮しました。その上で、職場の方から称賛や助言を受け、自分の成果と課題を知ることができました。

この経験を生かし、3年生に向けた進路選択・決定の準備に生かしていきたいと思います。

今回の現場実習で御協力いただきました各事業所の皆様、誠にありがとうございました。

2 学年現場実習担当：長谷地



3 学年 前提実習

9月2日から10月4日までの約1か月間、3学年は前提実習を実施しました。1～2年生までに体験してきた現場実習とは異なり、前提実習は就職に向けた貴重な経験を積む機会です。生徒はそれぞれの企業で、自分のもてる力を発揮してきました。実際の業務に携わる中で、自分のスキルを実践に応用する難しさを感じる一方で、新しい知識や技術も多く学びました。また、課題として感じた点もあり、それらを今後の学習に生かしていきたいと感じています。今後もさらに成長するために、引き続き努力を続けていきます。

最後に、この実習に御協力いただいた企業の皆様やサポートしていただいた保護者の皆様、誠にありがとうございました。今後も、生徒の社会自立を目指して教職員が一丸となり、学習活動を通じて生徒の成長を支援していきます。本当にありがとうございました。

3 学年前提実習担当：山 下

